

## 中央大学国際経営学部 企業訪問報告書

調査テーマ	個性を生かし、共に成長する会社の研究
報告者	国際経営学部国際経営学科 1年 窪田 憧冨
調査日	2023年11月6日(月)
調査先	LVMH ジャパン
担当 CVS	稲木陵介 布尾和也 亀井義和喜 北口ジュリオ 小峰奈緒
授業科目/学部企画名	訪問調査「企業訪問」
参加学生数(学年)	50人(1年生)
調査趣旨・目的	企業研究の一環として、LVMH ジャパンの事業内容を知り、企業経営、企業戦略の知見を深める。
調査結果	<p>今回の企業訪問では、LVMH ジャパンの人事部、ピープル&amp;カルチャー シニアマネージャー、リテールパフォーマンス部門、Christian Dior Japan の人事部の方々から企業概要や事業内容を説明して頂きました。学生は関連する質問をし、お話を伺いました。</p> <p>最初に、LVMH ジャパンの人事部、ピープル&amp;カルチャーシニアマネージャーの方々から会社の設立から巨大企業になるまでの道のり、様々なブランドの束ね方をご説明頂きました。特に、70以上あるメゾン束ねながら、各ブランドの個性を尊重しながら、共に成長する意識を学びました。</p> <p>また、Christian Dior Japan の方からのお話では、エクセレントを意識したブランド作りについてお話を伺いました。LVMH の傘下に入ってから創業者の意思「女性を美しくするだけでなく、幸せにしたい」を受け継ぎ、さらに成長していることを教えて頂きました。</p> <p>加えて、Christian Dior Japan の リテール・パフォーマンス・コーディネーターの経験のある LVMH の方からは、リテールの実務経験を通して、学んだことや、社会人に必要なスキル、大学時代にすべきことを経験を交えて教えて頂きました。</p> <p>今回の企業訪問を通じ、社員一人一人が創業者のアールドヴィーヴルさんの「美しく豊かな生きる喜び」を意識したブランドづくりを行っており、それが社会に良い影響をもたらすことに魅力を感じました。</p> <p>参加者の一年生からは「社員の方々のようになれるよう、これからの大学生活を大切にしていきたい」という声や、「巨大企業の大きなプロジェクトの中で常に最高値を出すために繊細な言動や行動を大切にしていることに関心を抱いた」などの声が聞かれました。また、「今日の社会にとってとても大きな影響力を持つ会社の事業のお話を聞き、大変有意義な企業訪問だった」という感想もありました。</p> <p>今回の訪問は私たちにとって新たな取り組みでしたが、各々が新たな発見を持ち、各々の智見を増やすとても実りのある取り組みでした。</p>



講演終了時の集合写真



質問する学生